

たきかわ環境フォーラム「エコカフェ」のご案内

たきかわ環境フォーラム代表 平田剛士
事務局長 越後弘

郵便番号 073-0034 滝川市空知町 2-6-31 滝川市森のかがく活動センター内
電話／ファクス 0125-24-2447 (越後)
<http://ecoup.hp.infoseek.co.jp/index.html>

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ひごろよりたきかわ環境フォーラムの活動にご理解とご支援をいただき、たいへんありがとうございます。

2003 年発足の当フォーラムは、「ふるさとの自然再発見」をテーマに掲げて活動を続けておりますが、2 年前からこの「エコカフェ」を始めました。自然環境や郷土史に詳しい方々を講師にお迎えし、一緒にお茶を楽しみつつざっくばらんなお話をうかがいながら、地域の環境問題について関心を深められたら、と願いを込めています。

8 月 30 日の第 4 回エコカフェは、空知地方史研究協議会の相良主彦さんを講師にお迎えし、「空知の炭鉱、今・むかし」と題して話題提供いただきます。

つきましては、ひとりでも多くの方々に関心をお寄せいただきたく、事前告知と当日の取材・報道をお願い申し上げます。

第 4 回エコカフェ 「空知の炭鉱、今・むかし」

日時 2008 年 8 月 30 日 (土曜) 午後 1 時半～

会場 滝川市森のかがく活動センター (滝川市空知町 2-6-31)

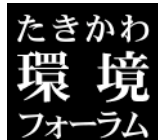
講師 相良主彦さん (空知地方史研究協議会)

入場料 無料 (いれたての「季節のブレンドコーヒー」や紅茶=各 50 円を用意しています。マイカップをご持参下さい)

お申し込み 不要

お問い合わせ 電話／ファクス 0125-24-2447 (越後)

主催 たきかわ環境フォーラム

**内容紹介**

北海道空知地方の社会の変遷は、近代の炭鉱開発抜きに語ることはできません。夕張・三笠・美唄・砂川・赤平・歌志内……。 「黒いダイヤ」を求めて、ヤマには長大な坑道が地中深く張り巡らされ、大量の移入労働者とその家族のために都市が建設されました。石炭輸送の需要が鉄道産業を牽引するなど新たな経済も次々に生みましたが、エネルギー政策が石油にシフトしたとたん衰退が始まり、今日の「夕張破綻」につながっていきます。第 4 回エコカフェでは、『赤平市史』『赤平八十年史』編集に携わってきた相良主彦さんを講師にお迎えし、空知地方の炭鉱開発の光と影をひもときます。

相良主彦さん

1931 年、旭川市生まれ。赤平市役所職員として『赤平八十年史』『赤平市史』編集に尽力。空知地方史研究協議会会員。赤平市在住。